

## 「踊りに行くぜ！！」Ⅱ vol.2 開催にあたって

＜コンテンポラリーダンスの全国巡回&普及＞を目的に、2000年から10年間継続して「踊りに行くぜ！！」を開催してきました。その結果、全国に振付家やダンサーが増え、同時に公演やワークショップなどを企画・開催する劇場や文化施設などが増え、「コンテンポラリーダンス」を全国に広める役割を果たしてきました。

昨年度から＜ダンス作品クリエイション&巡回プロジェクト＞とし、ダンス作品制作の環境を国内のネットワークを通じてサポートしていくことを目的に、「踊りに行くぜ！！」Ⅱ(セカンド)として再スタートしました。

その背景には、作品を創るために必要な経済面や制作面などが全てにおいて振付家だけの力に委ねられ、満足できるまでリハーサルが行えないなど、作品制作における環境や状況の不十分さが浮かび上がってきました。また、主催者側においても、作品を創るためのサポートを積極的に行っているところがあまりにも少ない現状がありました。

そこで、JCDNでは次なるステップとして、これまでのネットワークを活かし、作品を創ることをサポートする新しいシステムを全国のパートナーと協働して創ることが出来ないかと考えました。

日本全国でダンス作品を滞在制作(=ダンス・イン・レジデンス)できるスペースを確保し、ある一定期間アーティストが滞在し、作品を立ち上げていくと同時に、途中段階での試演会や開かれた批評の場をつくるなど、他者の反応を取り入れながら多角的な視点で作品を練り上げていく。ダンス作品制作をサポートしていくことの面白さと意義が全国に広がれば、もっと日本のダンスは発展していくのではという思いで、「踊りに行くぜ！！」Ⅱ(セカンド)を立ち上げました。

その第1回目を終えて、参加したダンスアーティストが、ダンス・イン・レジデンスを通して集中して作品制作を行なうことの重要性や、各地の主催者や観客の皆様と共に作品制作に携わったことで、作品制作をサポートすることへの共感が生まれ、今後の取り組むべき課題や、更なる必要性をより具体的に実感することができました。

本年度も引き続きvol.2を開催します。既に上演された作品ではなく、これから創ろうとする作品のアイデアを公募し、各地のパートナーと共に選考し、その選出された作品を制作・上演することをサポートします。その方法として、「A/ダンスプロダクション・サポートプログラム」、「B/リージョナル・ダンスクリエイション・プログラム」という2つのプログラムを実施いたします。

このプロジェクトにより、ダンス作品を制作する現場が全国に広がり、観客が共感できる作品をつくりだしていくことを目指していきます。

2011年5月

NPO法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

## プログラム内容

### A プログラム

#### ダンスプロダクション・サポートプログラム

複数の構成メンバーによる新作品の制作をJCDNと各地の主催・共催者がサポートし、制作された作品を2012年1~3月に巡回公演で上演します。

総合舞台芸術としてのダンス作品を創るひとつの方法として、Aプログラムでは振付家1名だけではなく、作品制作を担う複数の構成メンバー(作・演出・構成・振付・出演・音楽・美術などの役割が明確にされている)による作品を対象とし、公募します。

応募作品の中から今年度は3-4作品を選出し、その作品制作過程を各地の主催・共催者と協働でサポートします。

主なサポート内容は、作品制作の一時期を開催地またはレジデンス協力地域に滞在し、集中して作品制作を行う滞在制作“ダンス・イン・レジデンス”を実施します。レジデンス地域では舞台演出・テクニカルの試演の機会をなるべく行えるようにするほか、途中経過(ワーク・イン・プログレス)段階での試演会の機会を設け、制作過程から複数の客観的な目を増やし、作品のブラッシュアップに役立てられる環境を作ります。その他、ダンス・イン・レジデンス実施以外の稽古場提供を他の団体にご協力をお願いします。また、制作~上演までの経済的なサポートについては、右記「JCDNが提供する項目」を参照ください。

最終的に制作した新作を「踊りに行くぜ！！」Ⅱで巡回公演することにより、作品の質を高めていくことを目指します。

### B プログラム

#### リージョナルダンス・クリエイションプログラム

2011年度の開催地域＜札幌・仙台・福岡・京都(予定)＞各地において、作品の作者となるダンスアーティストが各開催地で募った出演者と新作を制作し上演します。

新たなダンス作品制作方法のひとつとして、ダンスアーティストが、制作したい作品のコンセプトに基づき、各開催地で募った出演者と新作を制作する試みです。

ダンスアーティストが初めて出会う各地の出演者とリハーサルを重ね、作品としての完成度を高めるためのオリジナルな方法論をみつけ出していくことを目指します。出演者の身体性や特徴を活かした振付・演出方法や、その土地の歴史・文化・風土・地形などの特色をリサーチし、そこから物語を紡ぎだすなど、様々なアプローチの機会となるでしょう。

ダンスアーティストが、各地で出演者を選出するところから、ダンス・イン・レジデンスを行う過程、そして作品を上演するまでをAプログラムと同様に現地主催・共催者と協働でサポートします。また、途中経過(ワーク・イン・プログレス)段階での試演会の機会を設け、制作過程から複数の客観的な目を増やし、作品のブラッシュアップに役立てられる環境を作ります。

作者となるダンスアーティスト、各地の出演者、開催地、それぞれにとって未来におけるダンスの可能性を広げるプログラムです。